

3 多様な農業展開を支える農業農村整備事業の着実な推進について

【農林水産省、財務省】

《提案・要望事項》

農業の競争力強化や農業・農村の持続的な発展を支える農業農村整備事業の着実な推進のため、次の取組に必要な当初予算の確保を要望する。

- 1 効率的な農業生産により所得向上を図るための生産基盤の整備
- 2 農業生産や農村の暮らしを支える農業水利施設や農業集落排水施設の長寿命化
- 3 ため池等の耐震化、排水ポンプの更新など、農村地域の防災減災対策

《産業の生産性が高い県づくり》

時代や環境の変化に柔軟に対応する足腰の強い産業が持続的に発展し、地域の活力を生み出し、県民の生活を支えている「産業の生産性が高い県」を目指す。

【長野県内の現況・課題】

○収益性と創造性の高い農業の実現のため、必要な農業基盤整備を着実に実施

農産物を効率的に生産し、収益性と創造性を高めるためには、ほ場の大区画化、樹園地の整備、農道の改良等、省力作業機械による営農を可能とする農地の条件整備や、ICTを活用した用水管理の省力化など、導入作物に適応した基盤の整備を行うことが重要。

また、農業を産業として持続的に発展させていくためには、安定生産に必要な幹線用排水路、用排水機場等、農業水利施設の適切な保全対策も併せて実施していく必要がある。

ICTなどを活用した強い農業基盤づくり



計画的な事業推進により「稼ぐ農業」を実現

- 規模拡大やICTの活用など担い手が目指す農業展開に応じた計画的な基盤整備が重要
- 高収益作物を導入するには、担い手の営農計画と協調した基盤整備が必要
- 強い農業基盤づくりを戦略的に進めるには、**当初予算の安定確保**により計画的な事業推進が必要



ほ場整備と担い手への農地集積



自動給水栓やICTを活用した用水管理で省力化

施設の長寿命化と災害に強いインフラ整備



施設の適時・適切な保全管理が信頼ある産地の第1歩

- 昭和の時代に整備してきた**膨大な農業水利ストックの長寿命化**が必要
- 全国に先駆けて整備した**農業集落排水施設の長寿命化、機能強化**が必要
- 防災減災対策は「**地震対策**」「**豪雨対策**」「**地すべり対策**」を優先的に実施



機能が低下した排水ポンプの更新

【参考】

地域の特徴を活かした担い手の多様な取組を支える基盤整備

酒とワインを核とした農業振興 ～会染西部地区（北安曇郡池田町）～

【事業実施の背景】

- 農地が狭小であるなどの基盤条件が悪いことから、後継者不足による農地の荒廃が進行
- 池田町ほか2市で「ワイン特区」を取得 ⇒ 新規ワイナリー建設にはワイン用ぶどう畑が不足
- 地元酒蔵会社による地元産酒造好適米を使用した日本酒のブランド化
- 長野県産ブランドとして、ワイン・日本酒のブランド化を推進

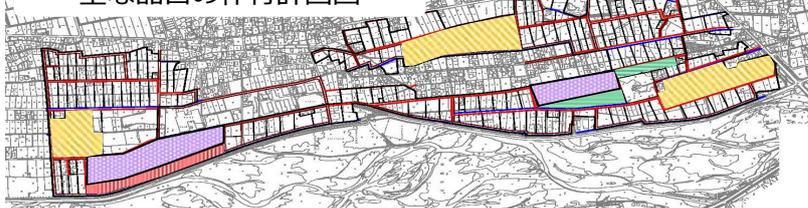
農業競争力強化農地整備事業（H30～35） 区画整理 A=61ha、総事業費 15億7千万円

- ・区画整理によるほ場の大区画化 平均区画 8a ⇒ 30a
- ・担い手への農地集積・集約化 集積率 34% ⇒ 89% 耕作者数 130人 ⇒ 29人
- ・高収益作物への転換 酒米の契約栽培、ワイン用ぶどうの生産拡大⇒収益性の向上
- ・集落営農組織の法人化による経営の安定

狭小なほ場



主な品目の作付計画図



長野県原産地呼称管理制度



信州産農産物・加工品の味と品質を保証する制度 ⇒ 高付加価値化
対象品目
ワイン・日本酒・焼酎
シードル・米



主な品目の作付面積 (ha)

	主食用米	小麦	酒米	ワイン用ぶどう	アスパラガス	トマト
現況	35	14				
計画	25		10	7	3	3

老朽化した農業水利施設の長寿命化

○農業水利施設の長寿命化対策に取り組み、コストの縮減と事業費の平準化を図っている。

- ・全面更新の場合、約3.4億円/年が必要
- ・コスト縮減を図るため長寿命化対策を実施した場合、約1.9億円/年が必要
- ・長寿命化対策を計画的に実施できない場合は、事業費は増加

コスト縮減に効果的な長寿命化対策の実施が重要



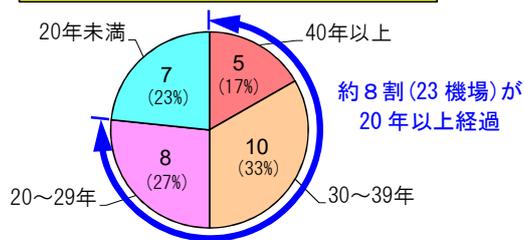
安全・安心のための農村地域の防災・減災

ため池耐震化工事の実施計画



- 県内の耐震化工事が必要なため池は28箇所（県営分）
- H30～33年度にかけて工事のピークを迎える
- 年間8～10億円の予算が必要

排水機場の経過年数別箇所数



- 県内の排水機場は30箇所
- 約8割の23機場が建設から20年以上経過
- ポンプ設備の耐用年数が超過し、更新が必要
- 年間5億円の予算が必要

(県所管部局) 農政部、環境部